

これから銀行の選
び方・メインバンクの考
え方

執筆担当者
飯島 賢二

「私もは、いわゆる
中小旅館です。いま
では地元の信用金庫を
メインバンクとしてや
つてきました。が、今後
のことを考えると、な
んとなく不安です。メ
インバンクに対する基
本的考え方を、教えて
ください」先般、こん
なご質問を受けた。
我社のメインバンク
をどこにお願いするか
は、そんな簡単には決
められない話である。
今までの付き合いの
度合い等、個々の状況
によって判断すべきで
あろう。ただ、客観的
に重要と思われる点が
いくつかある。
まず、信用金庫、信
用組合、あるいは地銀
だ、メガバンクだと言
った、形態によって決

まるものではないとい
うことが第一点。形態
に拘ることなく、当然、
その金融機関の経営状
況を調べる必要がある。
今は、全ての金融機関
にデイスクリーズ誌が
あるので、大体の概要
は分かる筈だ。経営の
不安定な金融機関は避
けるべきである。つま
りメインバンクは、形
態で決まることでは
ないということ、理解
すべきである。
次に一番肝心なこと
は、その金融機関が、
どのくらい中小企業に
対して、本気で支援す
るか。それを見極める
ことである。中小企業
支援の、大袈裟に言え
ば哲学、姿勢がどうか、
過去の実績は。チェツ
クしなければならな
いだろう。
そして更に重要なこ
とは、その金融機関や
スタツフが、いかなる
支援体制と手法（ノウ
ハウ）を有しているか
を調べる必要がある。
従前にはない経営環境
の中で、四苦八苦して
いる中小企業を、五年

も十年も前の「モノサ
シ」で判断している限
り、有益な支援案は浮
かぶはずがない。ただ
「金を貸す」だけの間
接金融オンリーが、現
実の中小企業再生に、
すべて有効となる筈が
ない。最新の手法を用
い、場合によってはフ
アンドやファイナンス、
リースバツクやアセツ
トの流動化等、あらゆる
金融支援技法をミツ
クスし、トータルでの
実践案を提供出来る支
援体制、これからはこ
んなタイプの金融機関
とお付き合いすべきで
ある。
本来的にいえば、金
を貸し回収するだけが、
金融機関の機能ではな
いはず。中小企業を指
導し、本当に支援して
いく、いわば、中小企
業とリスクを分け合う
くらいの銀行が、今、
一番求められている。
目を金融庁に向けてい
る銀行より、お客様を
見続けている銀行、そ
んな銀行と、コンビを
組んでみたいものだ。